2020　年度　授業概要

科目名		運動療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間　（4単位）	配当学年・時期	理学療法士科2年		前期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

理学療法士の行う運動療法によっておこる生体への反応などを学び、運動療法の基礎理論を理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

運動学、解剖学、生理学を基礎知識にして、運動療法によって起こる生体への反応を理解する。

〔講師の実務経験〕

リハビリテーション病院にて主に脳血管障害に対して12年間理学療法士として従事する。

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

各運動療法の基礎知識を理解し、実習の授業の理解を促進できる。

回数	講義内容
1	運動療法学基礎
2	結合組織の構造と機能
3	結合組織の構造と機能
4	関節の構造と機能
5	関節の構造と機能
6	関節の構造と機能
7	骨格筋の構造と機能
8	骨格筋の構造と機能
9	骨格筋の構造と機能
10	骨格筋の構造と機能
11	骨格筋の構造と機能
12	骨格筋の構造と機能
13	神経系の構造と機能
14	神経系の構造と機能
15	神経系の構造と機能
16	神経系の構造と機能
17	一般的な組織の修復過程
18	一般的な組織の修復過程
19	一般的な組織の修復過程
20	一般的な組織の修復過程
21	一般的な組織の修復過程
22	一般的な組織の修復過程
23	基本的な運動の分類
24	基本的な運動の分類
25	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
26	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
27	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
28	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
29	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
30	関節運動学に基づいた関節モビライゼーション
	定期筆記試験

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

筆記試験にて評価